

くまもと

☎ 議会だより

94号
2019.7.25

さあ～ 力をあわせて



	6月の定例会	2～3
も	6月定例会 議案等審議結果	4
く	一般質問における発言の要旨一覧	5
じ	一般質問	6～11
	くまっこ	12

防災行政無線デジタル化施設整備の 工事請負契約を可決

6月定例会は、6月10日から13日までの4日間の日程で開催され、18件の議案が上程され全て原案のとおり可決されました。

一般質問では、6名が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

定例会初日の10日は、まず3月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会の報告、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

次に、議案では、平成30年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告、専決処分事項報告承認で、条例改正3件と、平成30年度一般会計及び特別会計補正予算3件の計6件、規約の一部変更1件、財産の処分（村有林立木）1件、条例改正3件、令和元年度の一般会計及び介護保険特別会計の補正予算2件、人権擁護委員候補者の推薦と、追加日程として工事請負契約の締結（デジタル防災行政無線施設整備工事）1件の合計16議案を上程しました。

最終日には、議員発議で村民の負託に応える活発な議会づくりを目的とする「球磨村議会活性化特別委員会」の設置と、陳

情関係で「新たな過疎対策法」の制定を求める意見書案が上程され、全ての議案が原案のとおり可決されました。

令和元年度一般会計及び 介護保険特別会計補正 予算を審議、可決

補正予算では、令和元年度の一般会計と介護保険特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計の主な内容は、デジタル防災行政無線整備事業が2カ年にわたる事業のため、翌年度までの継続費として設定し、令和元年度の工事監理委託料と本体工事費予算を減額しました。

そのほかに、淋地区にヘリポート建設のための測量設計委託料と指定緊急避難所の備品と備蓄物資の購入費、老朽化が進む渡小学校校舎の大規模改修工事費や小中学校にお

けるICT教育を推進するための地域おこし協力隊1名の雇用を含めた事業費、老朽化が著しい毎床地区の用水路改修に向けた測量設計委託料、渡大王地区用排水路の管理用道路の舗装工事、林業専用道小屋迫線及び林道東俣線の林道開設工事（一勝地）、村道峯山口線及び村道地の内山口線改良工事、峯川整備工事、移住定住対策で東京圏からの移住者に対する支援のための移住支援金、農山漁村滞在型宿泊の受入れで、研修や教育旅行、外国人観光客の受入れを含めた「一勝地温泉かわせみ」への環境整備に伴う「くまむら地域再生協議会」への事業費の貸付金などが計上され、1億9,563万2千円を追加し、歳入歳出総額42億8,563万2千円となりました。

介護保険特別会計では、介護報酬の改定等に伴う電算システム改修業務委託料などで、63万3千円を追加し、歳入歳出総額を6億7,675万8千円としました。

人事関係

球磨村人権擁護委員の推薦について、松江実子氏の推薦を全会一致で同意しました。

契約関係

球磨村デジタル防災行政無線施設整備工事で、富士通ゼネラルと5億4,945万円の契約締結について審議の結果原案のとおり可決されました。

一般質問

一般質問は、11日と12日の2日間行われ、初日は、田代利一議員、東純一議員、松谷浩一議員、舟戸生議員の4名、2日目は、小川俊治議員、高澤康成

議員の2名、計6名の議員が登壇。

農林業の振興、交通安全対策、安心・安全のむらづくり、高齢者にやさしい村づくり、若者世代の活力の創出と少子化対策、ドローンの活用、梅雨前の道路等危険箇所点検と迂回道路確保状況、移住定住対策など多岐にわたって執行部の考えを質しました。

(詳細は6頁〜11頁に掲載)

村内主要事業の現地視察を実施

6月3日(月)午後1時から、村内の令和元年度主要事業の現場視察を行いました。

現場視察を行った箇所は、改修工事を計画する役場横コミュニティセンター清流館、高沢小学校跡地の指定緊急避難所防災広場、神瀬地区避難所整備で解体撤去工事を行う旧神瀬小学校体育館、建物の老朽化から大規模改修工事を行う渡小学校校舎、河川の氾濫及び内水排水対策での峯川河川整備工事及び村道地の内山口線改良工事、最後に渡地下の村道峯山口線改良工事の7箇所、建設課職員より進捗状況と今後の計画について現

場説明が行われました。



峯川と村道地の内山口線



解体される旧神瀬小体育館

観光によるまちづくり先進地研修

球磨村議会では、6月15日(土)から17日(月)にかけ国会議員への要望活動と東京都奥多摩町日原

鍾乳洞と日原森林館などの視察研修を行いました。

日原鍾乳洞を運営する日原保勝会は、鍾乳洞をはじめ観光資源によるまちづくりに取り組まれている、球磨村の球泉洞とともに日本観光鍾乳洞協会に加盟し、本村と現在も交流が続いています。

日原鍾乳洞は、古くから東京都民の飲料水の水源となっている多摩川上流(奥多摩湖)から山間奥地の山岳地域にあり、山林に囲まれた豊かな自然環境を求め東京都内外の観光客が訪れる観光施設となっています。

観光客は昭和50年代の年間20万人をピークに減少を続け、年間約6万人まで減少しましたが、近年は外国人観光客などの入洞者数の増加から年間10万人まで上昇しています。

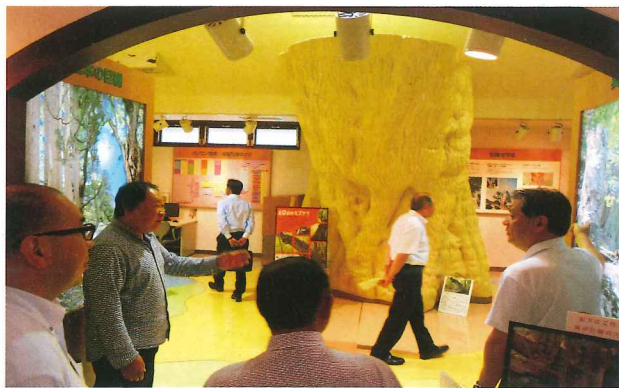
また、日原地域は「鍾乳洞と巨樹の里」の愛称で、古くから林業による営みが栄えたところで、日原森林館では全国の巨樹・巨木の情報などを集め自然のすばらしさや大切さを感じることのできる展示資料館として、訪れる方々を魅

了しています。

視察した当日は、子ども連れの家族や中高年層の観光客が、自家用車や路線バスを利用し、日原集落をウォーキングしながら自然の景色を楽しみ鍾乳洞を探索する姿を目にしました。

日原地域では、鍾乳洞を観光資源、地域の雇用の場として大切に管理運営され地域活性化対策の柱となっています。

(巨樹・巨木は、地上約130cmの位置で幹周りが3m以上の樹木とされています。)



「日本一の巨樹の里」日原森林館

6月定例会 議案等の審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第1号	平成30年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
2	承認第1号	専決処分事項報告承認について (球磨村税条例等の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
3	承認第2号	専決処分事項報告承認について (球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
4	承認第3号	専決処分事項報告承認について (山村振興法に基づく産業振興施策促進地域における固定資産税の課税減免に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
5	承認第4号	専決処分事項報告承認について (平成30年度球磨村一般会計補正予算について)	原案承認
6	承認第5号	専決処分事項報告承認について (平成30年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について)	原案承認
7	承認第6号	専決処分事項報告承認について (平成30年度球磨村介護保険特別会計補正予算について)	原案承認
8	議案第28号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決
9	議案第29号	財産の処分について	原案可決
10	議案第30号	球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
11	議案第31号	球磨村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12	議案第32号	球磨村立学校施設の使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
13	議案第33号	令和元年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
14	議案第34号	令和元年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
15	議案第35号	工事請負契約の締結について	原案可決
16	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意
17	発議第1号	球磨村議会活性化特別委員会設置に関する決議について	原案可決
18	発議第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	原案可決

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代利一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業振興 ② 交通安全対策 	6頁
東 純一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校、地域参加での活動に対する保険 ② 電波難聴対策 ③ 安心、安全のむらづくり 	7頁
松谷浩一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護人材不足の現状について ② 村内の介護離職者の状況について ③ 神瀬福祉センターたかおとの利用状況について ④ 民生委員、児童委員について 	8頁
舟戸治生議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 若者世代の活力の創出と少子対策について ② 安全・安心対策について ③ 安全な環境づくりと安心な作物づくりについて ④ ドローンの利活用について 	9頁
小川俊治議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 道路の危険箇所点検 ② 急傾斜地危険箇所点検 ③ 迂回路道路の確保状況 ④ 移住・定住促進 	10頁
高澤康成議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 安心・安全な暮らしの環境づくり ② 農林業の振興 	11頁

高齢者でも稼げる農業を！

答 薬用シヨウガ、ミシマサイコなど支援していく

田代議員 農業振興の中で、高齢者でも稼げる農業の推進について現状は。

柳詰村長 インゲン・オクラ・薬用ミシマサイコ・薬用シヨウガなど8品目を本村の奨励品種としている。作付面積、収量等も年々増加しており、併せて、販売額も大きく向上している。今後も、村として支援していきたい。

田代議員 交通安全の意識高揚のために、役場職員及び村民に対して行っている取り組みは。

柳詰村長 公用車の事故防止に関しては、毎月の定例課長会議で、各課の課長、局長を通じて職員への周知と注意喚起を図っている。毎年実施される安全運転技術研修会へ2〜3名ずつ職員を派遣し運転技術の向上

に努めている。また、高齢者の事故防止に関しては、本村において家用車は重要な移動手段であることから、免許証返納後の移動手段としてコミュニティバスを運用している。

田代議員 最近、高齢者による交通事故の報道をよく耳にするが、免許証を返納された高齢者に対する支援について村の考えは。

山口総務課長 村としては、コミュニティバスの運用により十分なサービスが図られていると考えている。その他のサービスについては考えていない。ぜひ、コミュニティバスを活用していただきたい。

田代議員 高齢者に対する交通安全講習について村の現状は。

山口総務課長 敬老会等で、交通安全協会から短時間ではあるが講話が

されている。

柳詰村長 今後、ふれあいサロンやせせらぎでの温泉利用時に講話等を行うことができないか検討したい。

田代議員 昨年交通安全推進会議で防犯カメラの設置をお願いしたが。

友尻教育長 検討はしたが、設置場所、カメラに写りこむ方のプライバシー問題、予算問題等で、必要性を感じているが設置できていない。

田代議員 スクールバス運行についての安全対策は。



田代 利一 議員

永椎教育課長 村内に約30力所の停留所があり、乗り降りは停留所で行っている。また、停留所での見守りについては、小学校の低学年のご家庭については両親や祖父母の方が付き添われるなど地域の皆さんにご協力いただきながら行っていきたいと考えている。



棚田で栽培されるミシマサイコ

地域のラジオ難聴解消に向けた整備は

答 総務省の解消支援事業があるので研究してみたい

東議員 現在、学校、地域体となつた活動が多くなつており、大変有意義なことだと思つう。そのような中、

気になることとして、事件、事故の多発がある。活動に対しての備えについての対策や保険加入についてはどのような状況か。

柳詰村長 地域と連携を深めながら、信頼される学校づくりに努めている。協力いただく方々への保険の必要性は認識しており、活動種類に応じた加入が重要である。今後とも、村民皆様のサポート体制、支援策を構築していかなければならない。

東議員 加入掛金については保護者側負担であるのか。

永椎教育課長 ご家庭で負担いただいている。

東議員 掛金としての村からの助成は考えられないか。

友尻教育長 学校応援団のボランティア活動保険については村からの助成である。PTA災害保険については、原則保護者負担であるが、状況に応じながら検討していく。

東議員 村内では、良好なラジオ放送受信地域は一部の地区に限られている。村では、防災無線放送により村民への通報が行われており、心強く感じているが、災害時、電気がストップした時などラジオでの情報入手は必要ではないか。若い方であれば入手の手段いろいろあると思うが、高齢者も多い本村として、難聴解消に向けた整備はできないか。乾電池さえあれば情報の入手もでき、心の癒しや、教養の向上にもなると思つう。

柳詰村長 通信網が混乱しても特に災害時にラジオは力を発揮するメ

ディアだと承知している。防災力向上のため、財政的な問題もあるが、研究してみたい。

東議員 本村も例外なく高齢者だけの世帯、高齢者ひとり暮らしも増えており、老老介護、認知症の増加も見込まれる。行政の対応、取組みはどのように捉えられているか。また今後の公共交通についての考えは。

柳詰村長 行政、地域事業者等二体となつて高齢者を支える仕組みを考えていくことが大切である。行政が行う公的支援、介護サービスの他に、生活支援や高齢者見守りネットワーク、見回り活動など支える仕組みを関係者全体で進めており、さらに強化していきたい。公共交通については今のところ変更は考えてはいない。

東議員 将来、周りは皆高齢者。運転する人もいない。バスにも乗れない。そんな不安もあるが。

山口総務課長 福祉関係の施策もあるので、活用いただきたい。

東議員 認知症の増加も見込まれるので、対策は取つておられるか。
假屋住福祉課長 介護教室等も開き、村民の方々に参加いただいている。
東議員 誰でもひとり悩むことがあ



東 純一 議員



災害時の身方

神瀬福祉センター「たかおと」 デイサービスの休止を提案

答 今後も継続していきたい

松谷議員 全国的に介護人材不足
が大きな社会問題となっている。村
内においても、千寿園、社協共に人
員確保に苦勞されている。社協にお

いては、3月に男性職員3名が辞職
その後1名を補充されたが、その後
の運営状況は。

假屋課長 3月議会で申し上げた
とおり、デイサービスの利用定員を
「34名」から「29名」へ変更した。
また、現在の利用者は約25名であり、
人員配置等から見ても運営できてい
る。

松谷議員 法律で定められた職員数
は確保できているかもしれない。し
かし、職員の休みなどを考えると足
りないと思うが、村長の考えは。

柳詰村長 社協会長として答えさせ
ていただくと、近年赤字経営が続い

ており、人材不足等の課題について
も、社協の役員会等で検討し進めて
いきたい。

松谷議員 社協の経営状況について
どう考えているか。

柳詰村長 介護保険制度の見直し及
び介護報酬の引き下げ、利用者の減
少等により減収となっている。また、
平成28年度から、社会福祉充実残額
が生じたため計画に従って一定額を事
業投資しなくてはならず、このよう
な事から赤字経営となっている。

松谷議員 今後、球磨村の高齢者
は徐々にではあるが減少する。介護
サービスを利用する方も減少すると
思われる。利用者が減った場合、デ
イサービスセンター「せせらぎ」と「た
かおと」共に運営していかれるのか。

柳詰村長 村長として答える。神瀬



松谷 浩一 議員

福祉センター「たかおと」について
は、地域住民と何度も話し合いを重
ねた結果開設された。現在、毎年数

百万円の赤字で経過し
ているが、地域住民に
対してそれ以上の貢献
をしていると考えてい
る。間もなく防災広場
も完成し、ゲートボー
ルなどもできるように
なる。これまで以上に
老人会の皆さん等のよ
りどころになると考え
ている。赤字経営につ
いては、社協の役員等
で検討し対応していき
たい。



神瀬福祉センターたかおと

松谷議員 今後のデイサービス利用
者数、深刻な介護職員の人材不足、
社協の経営状況等を踏まえ、デ
イサービスセンター「たかおと」をし
ばらく休止できないものか……。

若者の雇用対策は

答 若者が働きたくなくなるような職場環境の創出が必要

舟戸議員 若者世代の流失を抑え、

転入促進に重点を移し、球磨村人口ビジョンなど今後も切れ目ない施策投入が求められているが、若者村内雇用対策と新規企業支援の考えは。

柳詰村長 昨年12月に村内の事業

所に対して意識調査を行ったが、仕事はあるけど働く人がいないことがわかった。若者が働きたくなるような職場環境の創出が必要と考えている。新規企業支援については、企業立地条例を創設し、固定資産税の減免措置や創業支援等事業計画を策定し、創業したい人の支援体制を整えていく。

舟戸議員 全国で子どもが犯罪被害者になる凶悪事件が発生している

が、不審者の情報があった場合、情報をいち早く村民に共有する方法は

ないのか。

柳詰村長 現在、警察などから緊急

性の高い不審者情報が寄せられた場合には、直ちに防災行政無線を使い、村内一斉放送により村内住民への周知を行っている。また、現在進めている次期デジタルの防災行政無線において、携帯電話、スマートフォンへのメール、LINEなどを通じ、村からの情報等を伝達する機能を追加する計画である。

舟戸議員 聴覚障害者の方々に対する

情報、緊急情報の伝達方法は。

山口総務課長 次期防災行政無線

において新規に機能を取り入れており、対応する。

舟戸議員 渡小の通学路で倒壊の危

険のある空き家があり、暴風雨、積雪などにより地域住民に被害が及

ぶおそれのある空き家の現状と対策は。

山口総務課長 住民の方から相談

ただいているところが三ヶ所ある。空き家の所有者の方と連絡をとって対応していく。

舟戸議員 本村の農業においては、

生産者の高齢化や担い手不足が著しく、農家数は年々減少している。今後も高齢者や女性が農業生産活動を担うため、整備に伴う生コンの支給だけでなく、現場の対応や処理を重視すべきと思うが。

柳詰村長 現在、村単独事業では、

農道を舗装するための生コンフリーの支給及び40万円以下の施設災害に小規模自然災害復旧等補助金、ま

た、国庫補助金の団体営農村整備事業補助金で水路改修などに取り組み、さまざまな角度から支援している。

舟戸議員 将来、商業、農業、運

輸業を中心とした民間企業でドローンの利活用が検討されているが、本村においての今後の対応方針は。

柳詰村長 現在、防災交通係、企

画振興係において、ドローン機器の導入を初め、操縦訓練等実際の現場で必要となる職員の育成に向けた準備を進めている。



舟戸 治生 議員



今後活躍が期待されるドローン

一王子団地方式の 宅地分譲の考えは

答 重要な問題であり真剣に
深く掘り込み考ええる

小川議員 雨季を前にしての備えが大変重要だと思うが、生活道路の危険箇所点検は行われているのか。

検が行われているが、コミュニティバス、スクールの運転手の皆さんの情報収集は。

柳詰村長 村道等の村管理道路の危険箇所点検については、6月中旬まで建設課職員により、暗渠や側溝の詰まり、法面や路肩のひび割れ、舗装の陥没等の異常がないかパトローラーを行っている。

上部建設課長 それぞれ村内二回りされているので、落石、倒木、舗装など異常があれば連絡が来ている。現地を確認した上で、応急処置や危険が回避できるようバリケードの設置で対応している。

小川議員 災害発生により迂回路の確保も必要と思うが。

小川議員 急傾斜地に対する県の方針は特に危険である地域を絞り込んで対策をするというが、村に対する説明や村民への周知は。

上部建設課長 頻繁に通行止めとなる県道高沢一勝地線、村道渡大槻線など優先順位をつけ整備している。また、林道も迂回路として利用できるよう延長、舗装なども行っている。

上部建設課長 土砂災害防止法による危険区域指定の各戸別に避難の重要性を周知することとされており、6月25日の区長文書に間に合うよう準備している。

小川議員 道路の危険箇所について、日常的なパトローラーや事前の点

小川議員 次に、村有の住宅建設に



小川 俊治 議員

ついで今後の方針は。

柳詰村長 村有の住宅建設用に造成した神瀬に2戸、永崎団地を更に拡充できればと考えている。

小川議員 村内に残りたという方も多くおられると思うが、3世代同居についての対応は。

高永企画振興課長 3世代同居は良いこともたくさんあると思う。利便性の良い村外の人吉あたりに転出傾向はあるが、ソフト的な支援が必要。

小川議員 これまで建設された公営、村有の住宅はすべて入居の状況だが、

個人住宅建設はこの5年間で23戸と年々減少している。村内に残れる環境を整える上でも一王子団地方式の宅地分譲の造成が望まれるが。

柳詰村長 子育て支援も十分対応している。村外からも来られると思う。多額の費用がかかるが、重要な問題である。真剣に深く考えたい。



定住促進住宅一王子団地

高澤議員 各自治体で防災意識が高

まり、ハード、ソフト面で対策がなされるようになった。予防的避難、避難所開設の際、避難ルートの整備も、今後さらに整備する必要がある。

また、山間地域における課題として、火災が発生した場合の対応を心配している。今後の防災における計画と防火用水の確保、避難に対する整備については。

柳詰村長 村ではこれまで、安心安全の観点から防災対策に関連する施策や、整備事業などに取組んでいる。環境づくりの点では、消防力の充実強化が重要なものであり、初期活動において必要となる防火用水の確保とか、初期消火に大きな役割を果たす重要な施策である。国、県関係の事業をとり、有効に活用し、必要な整備を進めたい。避難道についても

随時取組んでいく。

高澤議員 稼げる農業、販売戦略の構築等取組んでおられるが、何を基準にその効果を評価しているのか疑問である。取組んでいる施策に対する村の考えは。

柳詰村長 自給的農家の割合が高く、離農、担い手不足もあり、農業所得向上には今のところ結びつきが難しい状況である。村では、国等の補助事業による所得安定対策、環境保全の取組み、村の補助で営農指導事業等農林業の振興を図っている。

高澤議員 主要道路、迂回路、維持改良について優先順位をつけてとの話もあったが、今の状況でいいかというところ、もっと力を入れていいのではないか。その中で二勝地岡線の状況は。

上部建設課長 国等の補助がつかない。

いような状況であるが、できるだけ予算を確保しながら少しずつでも整備を進めていきたい。

高澤議員 農業振興の施策展開として、進捗や実績評価をどのように評価されているのか。

犬童産業振興課長 厳しい状況の中、補助事業を使い育成に努めている。稼げる農業の推進については、普及に努め収益は上がっている。

高澤議員 学校給食の件であるが、現在JAの米を学校給食に拠出をしている。球磨村の米、農業を主体とする球磨村活性化協議会で買って、そこから球磨村分の学校給食会に出す。これは、農業の所得向上にもつながるのではないか。

柳詰村長 地産地消できればと思う

が、物品販売の方々、商工会あたりと話して、できればやっていきたい。

高澤議員 村長の農業振興についての思いは。

柳詰村長 それぞれの経験者がおられるので、一緒になって所得向上に取り組んでいきたい。

高澤議員 所得につながる農業振興、これをしっかり確立すれば、お互い良い関係が成り立つ。重要な施策であると思う。ぜひ、力を入れていただきたい。

答 着実に整備が進み、安心安全な暮らしの基盤がより確かなものになっている

安心安全の環境づくり、防災消防対策は



高澤 康成 議員



整備された高沢避難所防災広場（ヘリポート）



くまっこ

なかまの目標

渡小学校 6年 なかまとともに夢をつむぐ

- 「元気な挨拶・返事で何事にも粘り強く取り組む」(元気で)
- 「進んで発表し、学び合う」(かしこく)
- 「相手の気持ちを考え、行動し、いじめ・差別をしない」(笑顔あふれる)

<クラスの自慢>

○活発 ○男女の仲が良い
○行事や委員会など責任をもち取り組むことができる。
【6年 境目 凜 さん】
16人のクラスは面白くて、元気いっぱいです。4月から最上級学年として、低学年のお手本になるように、あいさつ・返事などを頑張っています。また、相手の気持ちを考えて、行動するように心がけています。修学旅行に向けて、話をしっかり聞けるように、毎日頑張りたいです。

<担任の先生> 米多 康輔先生

6年生は男子11名、女子5名、計16名です。毎日、エンジン全開で、元気溢れる日々を過ごしています。6年生になり、最上級生としての自覚が出てきました。行事や委員会など、責任を持ち取り組むことができます。渡小のよきリーダーとして、もっともって自分たちのよさを磨いていきます。なかまとともに夢をつむぐクラスを目指します。

編集後記

観測史上、最も遅い梅雨入りといわれた当地方ですが豪雨が続いています。

雨がほしいと空を見上げた田植時期、恵みの雨も梅雨とは言え鬱とうしさと降り方の激さに心も休まりません。

備えあれば憂いなし。災害を最小限に止める防災の大事さを再確認する地域の話し合いを進める事が求められています。命の大事さを今一度かみしめたいものです。

議会だよりが、皆様のお手元に届くころは梅雨も上がり、暑い日差しとなります。安心・安全を確認できることを祈ります。

小川 俊治

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	松谷 浩一